

研究活動

山 口 幸 照

著書, 学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又 は発表 の年月	発行所, 発表雑誌又 は発表学会等の名称	概 要	編者・著者名 (共著の場合 のみ記入)	該当頁数
(著書) 社会福祉施設と地域福祉	単著	1998. 1	きょうぶん社出版部	地域福祉の時代において、社会福祉施設の役割と位置について論じた。最近の家族の変容と介護問題、老人ホームの内容と仕組み、在宅サービスの内容と現状、イギリスの高齢者福祉の特徴、事例研究、老人ホームと社会福祉協議会・行政・地域住民・利用者・職員などとの関係性について考察した。地域福祉推進における老人ホームの役割と機能、課題と展望について述べた。	山口幸照	
社会福祉構造改革と地域福祉の実践	共著	1998. 8	東洋堂企画出版社	担当部分 「地域福祉推進における社会福祉施設の位置」 地域福祉を推進する上で社会福祉施設のはたす役割について論述した。従来の社会福祉施設についての問題点を整理し、将来の社会福祉施設の地域福祉推進の前提と条件について論述した。	大橋謙策・三浦文夫 山口幸照	
日韓地域福祉比較研究	共著	2000. 5	ナナム出版(韓国)	日本と韓国の地域福祉の構成要素(福祉教育、ボランティア、地域福祉計画、コミュニティーワーク、社会福祉施設の社会化・地域化、自立生活支援、NPO等)を明らかにし、現在の問題点と課題について考察したものである。	大橋謙策・三浦文夫 山口幸照	
密教福祉Ⅰ	共著	2001. 3	御法インターナショナル	宗教と福祉の関係性を明らかにする動きが、昨今非常に盛んになってきているが、ここでは、特に密教との関係について内外の関係者が論述したものである。担当分野は「密教福祉の立場」	藤田和正・山口幸照	
密教福祉Ⅱ	共著	2002. 3	御法インターナショナル	弘法大師の思想性を社会福祉実践に生かそうとする試みである。担当分野は「密教における宗教的ケア」	藤田和正・山口幸照	
新義真言教学の研究	共著	2002. 11	大蔵出版	頼喩僧正700年御遠忌記念論文集。真言宗と仏教者会事業の展開		
密教福祉Ⅲ	共著	2003. 3	御法インターナショナル	弘法大師の思想性を社会福祉実践に生かそうとする試みである。	藤田和正・山口幸照	
小野塚幾南古希記念論文集	共著	2003. 8	大正大学	密教と社会事業の展開と方法について真言宗豊山派の近代社会事業について詳細に論述した		
川崎大師仏教文化	共著	2003. 8	川崎大師教学研究	密教と福祉のリレーションシップについて論述した		
精神保健福祉士辞典	共著	2004. 7	中央法規出版	精神保健福祉の地域福祉関連の各項目を担当執筆した。		
地域福祉アクションプラン	監修	2004. 12	美原町	美原町の将来の地域福祉のあり方について報告をしたものである		
今僧侶は何をすべきか	共著	2005. 1	高野山布教師会	現代僧侶の社会的実践について報告し宗教的情操教育について考察した		
新心に残るケースワーク	共著	2005. 4	三学出版	コミュニティーワークの実践について高齢者とのふれあいを通して考察した		
高齢者と現代社会	監修	2006. 3	和歌山人権啓発センター	これからの高齢者の過ごし方について考察した		
心ふれあう福祉社会を創ろう	単著	2007. 1	和歌山人権研究所	社会福祉の歴史と現状について考察した		
福田亮成古希記念論文集	共著	2007. 3	智山勸学会	密教理趣の宇宙、密教福祉の立場について考察した		
戦後仏教社会事業の歴史	共著	2007. 5	法蔵館	戦後真言宗の社会福祉について考察した		
新義真言宗の歴史と思想	編著	2007. 6	ノンブル社	新義真言宗の歴史と思想について考察した		
差別戒名について	編著	2007. 6	高野山大学	戒名についてその歴史と現状について		

人権講話集「絆」 加藤精一古希記念論文集	共著	2007. 12	ノンブル社	考察した 戦後真言宗豊山派の社会福祉に ついて考察した
静慈円記念論文集 (論文)	共著	2008		
市貝町社会福祉協議会の 現状と課題	共著	1984. 3	全国社会福祉協議会 社会福祉研修セン ター 地域福祉活動 研究' 8 3	市貝町社会福祉協議会の現状と課題 を明らかにし、本来あるべき社会福祉 協議会の活動を考察した。社会福祉協 議会が連絡調整活動やふれあいサー ビス活動だけから、地域住民のいのちと くらしと健康をまもる活動へと脱皮す ることの必要性を述べた。
在宅現場の現実と未来	共著	1993. 7	日本医療企画月刊ば んぷう	介護現場から医療・保健・福祉のそ れぞれの立場で、具体的にありべき介 護について論述した。きたるべき21世 紀の介護について、様々な角度から論 述した。
介護負担軽減に関する先 行研究と現行在宅福祉サー ビスにおける介護負担軽減	共著	1995. 3	「高齢化社会におけ る家族の介護負担の 軽減に関する研究」 日本社会事業大学	担当部分 第2章「先行研究と現行在宅福祉サー ビスにおける介護負担軽減」 介護負担軽減に関する文献について マクロ・ミクロ双方またネガティブ・ ポジティブ双方にわたって検討した。 ①実態調査 ②負担感 ③虐待 ④介護 意欲に分類し系統的に検討した。今後 の本研究に多くの示唆を与えた。
社会保障制度と社会福祉	共著	1998. 2	とちぎソーシャル ワーク研究	社会保障制度と社会福祉との関係性 について平田富太郎、小山路男、社会 保障制度審議会勧告を並立的に比較研 究をし社会保障制度と社会福祉につい て論述した。今後の社会福祉の枠組み について論述した。
98' 日本生命財団高齢社 会福祉助成事業シンポジウ ム報告書「壁のない老人づ くりめざして」	共著	1998. 3	財団法人日本生命財団	社会福祉施設が地域住民と共に歩む にはどのような方策があるのかを考察 したものである。 社会福祉施設が真に地域住民にステイ グマなしに受け入れられ、地域の重要 な社会資源として活用されていくこと の大切さを事例をとおして紹介したも のである。
ゆるやかな連帯と協働へ	共著	1998. 10	東京都板橋区・ふれ あい2 1	少子・高齢社会に備えて、悔いのな い介護をすると共に、自分の老後につ いてもどのようにするのか考察した。 社会福祉施設をどのように活用し地域 自立支援を支えるシステムにしていく のかを考察した。
大正期の仏教社会事業	共著	2000. 3	現代密教第13号	大正期において活発に活動を展開 したところの仏教社会事業協会につ いて論述した。現代社会におけるN P Oの原型ともいえる活動について 資料をもとに裏付けた。
21世紀への提言 一人間・社会そして宗教	共著	2000. 8	智山教化資料26集	「福祉とボランティア」 日本におけるボランティア活動 の歴史と現状を分析し、あるべき ボランティア活動について考察し た。特にボランティア元年といわ れた阪神大震災について論述した。
家族をめぐる問題 —新しい家族像を求めて	共著	2001. 8	智山教化資料27集	家族の歴史の変容を明らかにし、 家族の介護問題について論述した。 誰がどこで要高齢者のケアをする のかについて考察した。さらに地 域社会と介護、社会福祉施設の社 会化にも論述した。
専門高校教員養成の一 考察—教科「福祉」担当教 員を中心に—	共著	2001. 2	高野山大学論叢36巻	1999年の教員免許法が改正され、 教科「福祉」の教員免許状が新設さ れたことについて、その問題点と 課題について論述した。専門高校 教員養成のカリキュラムのあり方 について考察した。
近代仏教社会事業実践	共著	2001. 9	日本仏教社会福祉学会	真言宗智山派の社会事業について

の成立と終焉 高齢者の福祉サービス利用意向調査報告書	共著	2002. 2	32号 高野山大学論叢37巻	論述した 高齢者の福祉サービス利用意向に関する実態調査をT県I町において行った報告書である。高齢者は本当は在宅での福祉サービスを受けたいと考えているが、実際は要介護状態になると施設に入所せざるをえないというアンビバレンツの状態にあることを浮き彫りにした。
日本における社会福祉サービスの内容と展開		2002. 3	現代密教第15号	日本の社会福祉サービスが施設福祉サービスから在宅福祉サービスへと発展していく現状と問題点について論述した。これからの社会福祉は、地域福祉が中心となって展開している内容について考察した。
コミュニケーションをめぐる諸問題	共著	2002. 8	智山教化資料28集	家族とコミュニケーション 家族とコミュニケーションについて様々な観点から論述した
結婚と差別	共著	2003. 8	智山教化資料29集	家族のあり方について検討した 障害者と差別 障害者の差別の現状と課題について論述した
社会福祉施設の社会化に関する一考察 善悪を考える	共著	2004. 3	現代密教代17号	解決すべき問題を明らかにした 社会福祉施設の社会化について、地域福祉の立場から考察した。
	共著	2004. 8	智山教化資料30集	社会福祉における善悪について考察した
宗教教育と福祉教育	単著	2004. 12	高野山真言宗教学部	戦前の宗教教育と戦後の福祉教育との類似性について考察した
高齢者と人権	単著	2005. 6	高野山真言宗同和局	高齢者の人権をどう守っていくのかについて考察した
社会福祉思想と密教思想の結節点		2007. 3	智山学報56集	密教思想と社会福祉思想について類似点と相違点について考察した
宗教的慈善と重源	共著	2008. 2	高野山大学論叢43巻	重源の思想・実践について考察した
<b>戦後高野山の社会福祉</b>		<b>2009. 3</b>	<b>密教学研究41号</b>	
〈学会発表等〉 日韓における社会福祉施設の運営と課題		1997. 3	日韓地域福祉実践セミナー分科会	日韓の社会福祉施設の運営について比較検討を行った。日韓の社会福祉施設のあり方について明確化した。
在宅福祉サービス利用体験と特別養護老人ホーム入所		1998. 6	日本地域福祉学会	特別養護老人ホームに入所する以前に在宅福祉サービスを利用しているかどうかは入所者の生死に関わる。いわゆるリロケーションの問題について発表した。実証的研究である。
日本の社会福祉サービスの現状と課題		1998. 9	韓国デイサービス協議会ソウルセミナー	日本の社会福祉サービスについて、特に在宅福祉サービスの内容と問題点について韓国のデイサービスと比較しながら発表した。国際的視点の必要性を明らかにした。
韓国におけるデイサービスセンターのボランティア活動について		1998. 11	日本福祉教育・ボランティア学習学会	韓国デイサービスにおいてボランティア活動がどのように行われているかについて事例基にして報告した。社会資源が少ない中でボランティアをどのように活用し、地域福祉の推進をはかるのかについて発表した。
高齢者の福祉サービス利用意向調査報告		1999. 6	淑徳大学学内学会	高齢者の福祉サービス利用意向に関する実態調査をT県I町において行った報告書である。在宅と施設サービスについて要介護高齢者になったらどのように利用して行きたいかについて発表した。
社会福祉における「自立」と仏教における「自力」について		1999. 9	日本仏教社会福祉学会	仏教における自力・他力・加持力について仏教各宗派の考え方を紹介した上で、社会福祉における自立との関係性について考察発表した。近年の社会福祉は、制度・政策・システム論ばかりが先行し、その基本とも言うべき思想・理念・哲学が存在しないのではないかという疑問から出発し、仏教の考

高齢者の福祉サービス利用意向調査から	1999. 10	日本社会福祉学会	え方がその参考になるのではないかとの仮説を発表した。 高齢者の福祉サービス利用意向に関する実態調査をT県I町において行った報告書である。在宅と施設サービスについて要介護高齢者になったらどのように利用していきたいかについて発表した。		
大正期における仏教社会事業協会の成立と終焉	2000. 9	日本仏教社会福祉学会	大正期においても豊かにもっていた仏教社会事業協会の活動について報告した。第2次大戦後、福祉は国家責任において実施されることが国是となったが、戦前は、公私協働の側面が強かったことについて報告した。		
地域福祉実践の方法と課題	2000. 11	高野山大学学内学会	地域福祉のミクロとマクロの間において最も重要なメゾ的展開においての実践方法について報告した。地域福祉実践の方法と課題の構成要件について提示した。		
密教福祉の展開方法と可能性	2001. 5	智山勸学会	密教福祉という思想が、新たな側面において可能かどうかについて報告した。宗教と福祉の関係性について詳しく報告した。		
障害者の差別	2001. 11	同和研究会	障害者の差別についての歴史と現状を報告した。差別の構造はすべて同じ。		
密教福祉の可能性	2001. 12	日本仏教社会福祉学会	密教と社会福祉の融合がどのような展開をすれば可能なかについて考察した。		
密教福祉思想の構築	2004. 12	日本密教福祉学会	密教福祉思想の構築と展開について		
近代社会福祉思想	2005. 12	日本密教福祉学会	明治以降の社会福祉の展開について		
インクルージョンと密教福祉	2006. 9	国際密教学術大会	密教と社会福祉の関係性について発表		
社会福祉思想と密教	2006. 9	日本仏教社会福祉学会	密教の福祉での果たす役割について		
密教と福祉	2006. 12	日本密教福祉学会	実践密教のあり方について		
五智と福祉思想	2008. 9	日本仏教社会福祉学会			
高齢者の安楽死の仏教理念	2008. 9	日本仏教社会福祉学会			
戦後高野山真言宗の福祉	2008. 1	日本密教学会			
福祉と差別	2010. 9	日本仏教福祉学会			
(その他)					
和歌山県ふれあい教育事業	2001年度 2002年度 2003年度 2004年度 2005年度 2006年度 2007年度 2008年度	和歌山県立伊都高校	高校と大学の連携の一環として、和歌山県立伊都高校看護福祉科において、授業を担当した。		
福祉科教育	2001年度 2002年度	高野山高校	高校福祉科における授業の取り組み方について、年間を通して、高校教員を指導した。		
和歌山県社協推進協議会	2001年度	和歌山県社協	和歌山県下の市町村社協の研修をおこなった。地域福祉実践の展開と方法について指導した。		
和歌山県福祉教育推進協議会	2001年度	和歌山県教育委員会	和歌山県内の小中学校における福祉教育の進め方について指導した。これからの福祉教育の課題について指導した。		
和歌山コンソーシアム	2002年度 2003年度	和歌山県	和歌山市、橋本市において社会福祉の現状と課題について講演を行った		
スピリチュアルケア ワーカー研修会	2003年度 2004年度 2005年度 2006年度	高野山真言宗	高野山真言宗住職・僧侶・寺族を対象に密教福祉理論、社会福祉理論を講義し単位の認定を行った		
7. 密教福祉講習会	2003年度 2004年度 2005年度 2006年度	高野山真言宗	高野山真言宗住職・僧侶・寺族を対象に密教福祉入門の講義を行った		
心の相談員研修会	2003年度 2004年度 2005年度 2006年度	高野山真言宗	高野山真言宗住職・僧侶・寺族を対象に社会福祉入門の講義を行った		

放送大学講義	2007年度 2005年度	放送大学	社会福祉入門を講義した。 1 単位分相当
(講演)			
高齢者と人権	2005. 3月	高野山同和委員総会議	高野山真言宗宗務支所長対象
高齢者と人権	同上. 7月	広島県宗務支所総会議	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
ボランティアの心	同上. 8月	新潟県教区講習会	真言宗智山派住職・僧侶が対象
高野山と人権	同上. 7月	広島県宗務支所総会議	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
高齢者と人権	同上. 9月	石川県宗務支所総会議	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
高齢者と人権	同上. 9月	福岡県宗務支所総会議	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
高野山と人権	2006. 2月	長崎県宗務支所総会議	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
高野山と人権	同上. 6月	熊本県宗務支所総会議	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
福祉と人権	同上. 10月	東日本支所会講演	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
社会福祉の展開と方法	同上. 11月	島根県宗務支所総会議	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
真言宗と福祉	2007. 5	岡山美作宗務支所総会議	高野山真言宗住職・僧侶・寺族が対象
密教と福祉	2008. 8	高野山大学夏季セミナー	
社会参加仏教と現代	2010. 11	全日本仏教徒会議シンポジウム	
(人権講演)			
和歌山人権講演	2006. 1月	和歌山人権研究所	高齢者と人権
和歌山人権講演	2006. 4月	和歌山人権研究所	福祉と人権
人権研究啓発集会	2007. 2月	部落解放・人権研究所	人権救済の社会システムづくり
和歌山人権講演	2007. 8月	和歌山人権研究所	福祉と人権
和歌山人権講演	2007. 10月	和歌山人権研究所	福祉と人権